

PROJECTION SCREEN

AV Stumpf
MONOCLIP64

簡易組立型モバイルスクリーン
(MBLCF/MBLCR)
取扱い及び設置説明書



この度はスタンフル社製プロジェクションスクリーンをお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
本製品を正しくお使い頂くため取扱い及び設置説明書をよくお読みください。
お読みになったあとは、後日お役に立つこともありますので大切に保存してください。

安全上のご注意

スクリーンを正しく利用し、人や財産への損害を未然に防止するため、使い方や設置の仕方を誤ったときに生じる危害や、損害の程度により次の絵表示で区分し、説明しています。

◆ 下記のマークのある注意事項及び、指示内容に関しては必ずお守りください。

	警告	この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を表示しています。
---	-----------	---

	注意	この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容を表示しています。
---	-----------	---

- | | |
|---|---|
|  | このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」の内容を表示しています。 |
|  | このような絵表示は、してはいけない「禁止」の内容を表示しています。 |
|  | このような絵表示は、必ず実行していただきたい「強制」の内容を表示しています。 |

 注意	<ul style="list-style-type: none"> ● 組み立ては必ず2名以上で、スクリーンの大きさ、重量に応じて必要な人数で行ってください。 ● スタンドを設置する場合は、平らな場所を選んでください。スタンドが傾いていると転倒する恐れがあります。 ● 人が通らない場所を選んで設置し、お子様などが誤って触れないよう充分注意してください。
 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ● スクリーンは、屋内での使用を想定して設計しております。屋外などの風の影響をうける場所では、スクリーン面全体に大きな力が加わり転倒する恐れがありますので、必ず屋内で使用してください。
 警告	<ul style="list-style-type: none"> ● スクリーン及びスタンド収納後は、それぞれたてかけたまま放置しないでください。転倒する恐れがあります。

取り扱い上の不備又は天災などによって発生する事故・損傷については、当社は一切責任を負いかねます。

防災ラベル <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: 80%;"> 消防庁認定 認定番号 EF-〇〇-〇〇〇〇 防 災 財団法人 日本防災協会 </div>	消防法により不特定多数の人が出入りする公共施設に設置されるスクリーンは、防災性能試験に合格したスクリーンを使用することが義務付けられています。防災ラベルは防災性能試験に合格したことを証明するものです。スクリーン生地裏側に防災ラベルが貼られていることを確認してください。
---	--

付属品

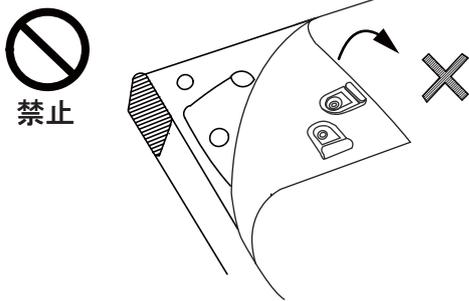
※予備として各種1~2本多く入っている場合があります。

共通付属品 M8-15mm 蝶ボルト  4本	AT48-Leg使用時 M8-50mm 蝶ボルト 各サイズ 2本  M8-70mm 蝶ボルト 各サイズ 7本 	AT64-Leg使用時 M8-50mm 蝶ボルト 各サイズ 2本  M8-85mm 蝶ボルト 各サイズ 8本 	イージーフライ64  付属数量はP3参照
---	---	---	---

使用上のご注意

本製品は誰にでも簡単に張込むことが出来るクリップ方式を採用しております。
思わぬ破損を避けるため、次のことに充分注意してお使いください。

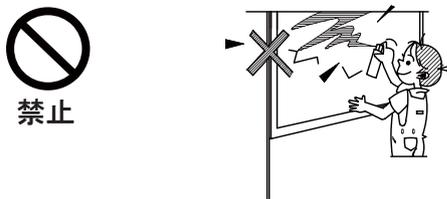
- スクリーンを外す際はP 6の張込み方法と逆の手順で外してください。
スクリーンをめくるような外し方をするとスクリーンやクリップを破損します。



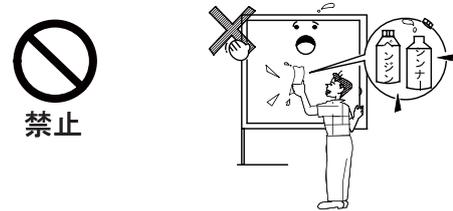
- 冬季にはスクリーン生地が冷えて硬化し破損の原因になるため、暖房の効いた部屋などで温めて柔軟性を取り戻してから使用してください。



- スクリーン面に文字などを書かないでください。スクリーン面に書かれたものは、筆記用具の種類を問わず消すことができません。



- シンナーなど溶剤系のものでスクリーン面を拭かないでください。スクリーンの表面が変質したり傷んだりします。



お手入れの仕方

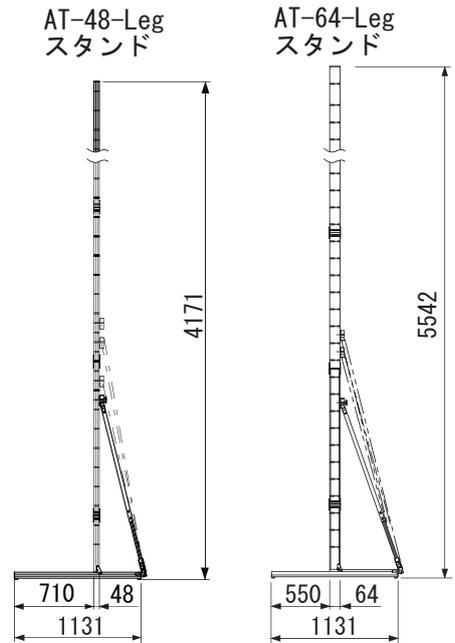
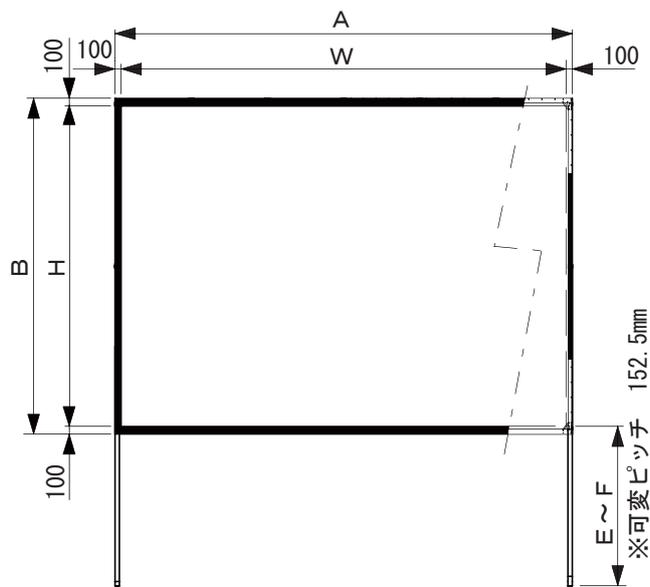
- スクリーン面のほこりをとるときは、柔らかいブラシで軽く払ってください。また、スクリーン面に付着した汚れは洗剤で濡らしたスポンジ(食器洗い用)で落とした後布で水拭き、乾拭きをしてください。



置き場所・保管についてのご注意

- 直射日光の当たる場所、ホコリや湿気が多い場所や熱気具のそばなど、直接熱が当たる場所は変形・故障や事故の原因となります。また、高温の車中への放置もさけてください。

スクリーン寸法図



スクリーン規格一覧

NTSCサイズ(4:3)

型番		スクリーンサイズ (W) × (H)	外形寸法 (A) × (B)	付属 スタンド	スクリーン高さ		重量				イー ジ フ ラ イ 6 4 個 数
フロント	リア				Min (E)	Max (F)	スクリーン		付属		
						フロント	リア	フレーム	スタンド		
MBLCF-150	MBLCR-150	3050 × 2290	3250 × 2490	AT-48	187	1712	4.6	3.7	18.4	15.0	2
MBLCF-180	MBLCR-180	3660 × 2740	3860 × 2940	AT-48	187	1712	5.7	6.1	22.3	15.0	2
MBLCF-210	MBLCR-210	4270 × 3200	4470 × 3400	AT-48	187	1712	7.4	8.9	24.6	15.0	3
MBLCF-240	MBLCR-240	4880 × 3660	5080 × 3860	AT-48	187	1712	9.4	9.3	26.6	15.0	3
MBLCF-270	MBLCR-270	5490 × 4110	5690 × 4310	AT-48	187	1712	11.7	11.7	29.3	15.0	3
MBLCF-300	MBLCR-300	6100 × 4570	6300 × 4770	AT-64	187	2017	12.6	13.9	31.4	19.0	3
MBLCF-330	MBLCR-330	6710 × 5030	6910 × 5230	AT-64	187	1865	13.5	13.5	35.3	19.0	3
MBLCF-360	MBLCR-360	7320 × 5490	7520 × 5690	AT-64	187	1865	14.4	18.4	37.6	19.0	3

HDサイズ(16:9)

型番		スクリーンサイズ (W) × (H)	外形寸法 (A) × (B)	付属 スタンド	スクリーン高さ		重量				イー ジ フ ラ イ 6 4 個 数
フロント	リア				Min (E)	Max (F)	スクリーン		付属		
						フロント	リア	フレーム	スタンド		
MBLCF-138HD	MBLCR-138HD	3050 × 1720	3250 × 1920	AT-48	187	2170	4.0	4.0	19.0	15.0	2
MBLCF-165HD	MBLCR-165HD	3660 × 2060	3860 × 2260	AT-48	187	2170	4.6	5.0	21.4	15.0	2
MBLCF-193HD	MBLCR-193HD	4270 × 2400	4470 × 2600	AT-48	187	1865	6.2	6.1	22.8	15.0	3
MBLCF-220HD	MBLCR-220HD	4880 × 2740	5080 × 2940	AT-48	187	1712	6.8	7.5	24.2	15.0	3
MBLCF-248HD	MBLCR-248HD	5490 × 3090	5690 × 3290	AT-48	187	1712	8.9	8.9	25.0	15.0	3
MBLCF-275HD	MBLCR-275HD	6100 × 3430	6300 × 3630	AT-64	187	2627	10.1	11.0	28.9	19.0	3
MBLCF-303HD	MBLCR-303HD	6710 × 3770	6910 × 3970	AT-64	187	2017	11.0	11.0	31.0	19.0	3
MBLCF-330HD	MBLCR-330HD	7320 × 4110	7520 × 4310	AT-64	187	2017	13.2	13.9	34.8	19.0	3

WUXGAサイズ(16:10)

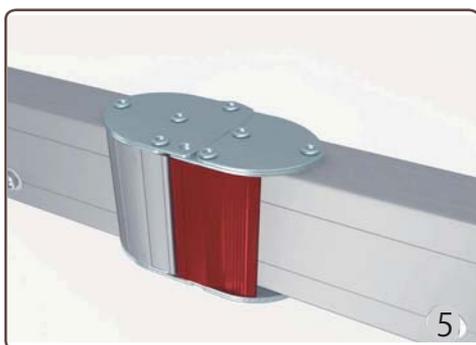
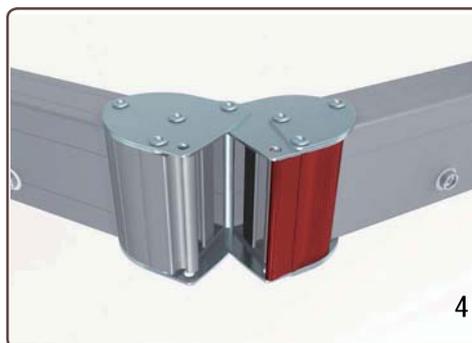
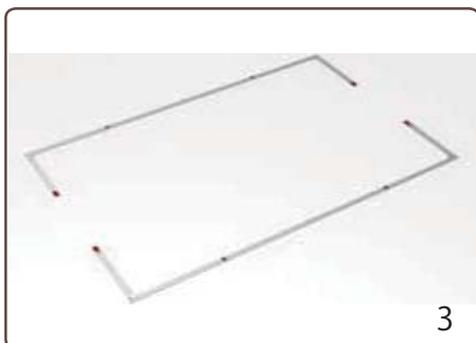
型番		スクリーンサイズ (W) × (H)	外形寸法 (A) × (B)	付属 スタンド	スクリーン高さ		重量				イー ジ フ ラ イ 6 4 個 数
フロント	リア				Min (E)	Max (F)	スクリーン		付属		
						フロント	リア	フレーム	スタンド		
MBLCF-142WX	MBLCR-142WX	3050 × 1910	3250 × 2110	AT-48	187	2170	4.0	4.0	19.0	15.0	2
MBLCF-170WX	MBLCR-170WX	3660 × 2290	3860 × 2490	AT-48	187	2170	4.1	4.7	20.9	15.0	2
MBLCF-198WX	MBLCR-198WX	4270 × 2670	4470 × 2870	AT-48	187	1865	6.6	6.6	22.4	15.0	3
MBLCF-227WX	MBLCR-227WX	4880 × 3050	5080 × 3250	AT-48	187	1712	6.8	7.3	24.2	15.0	3
MBLCF-255WX	MBLCR-255WX	5490 × 3430	5690 × 3630	AT-48	187	1712	10.0	10.0	27.2	15.0	3
MBLCF-283WX	MBLCR-283WX	6100 × 3810	6300 × 4010	AT-64	187	2627	11.0	11.0	29.0	19.0	3
MBLCF-311WX	MBLCR-311WX	6710 × 4190	6910 × 4390	AT-64	187	2017	12.0	12.0	31.9	19.0	3
MBLCF-340WX	MBLCR-340WX	7320 × 4570	7520 × 4770	AT-64	187	2017	14.5	14.5	35.5	19.0	3

単位=mm/kg

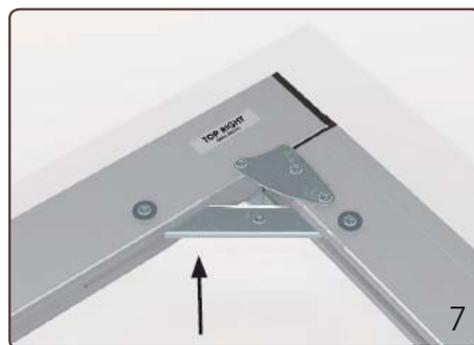
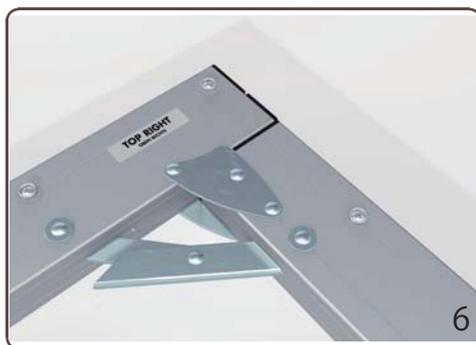
スクリーン組立て方法

(1) スクリーンフレーム組立て

- 折りたたまれているフレームを広げます。
(基本構成：トップバー/ボトムバー/バーチカルモジュール左右)



❗ ロックが掛からない場合は「カチッ」というロック音が聞こえるまでボタンを押し込んでください



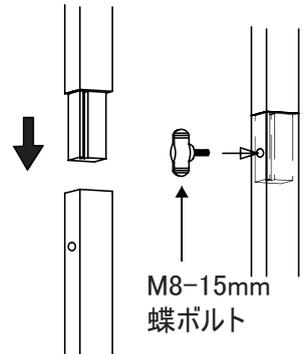
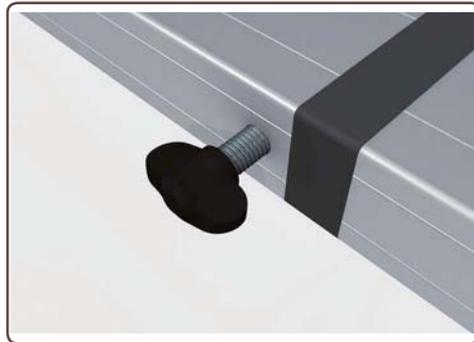
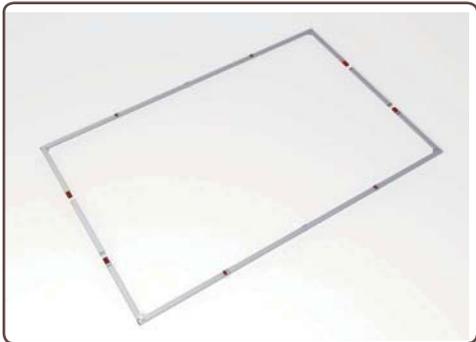
コーナー金具が図6のように直線になっていない状態で使用されますと、フレームの変形やスクリーン損傷が発生する恐れがありますので、必ず直線にしてロックをしてください。



ロックをする場合、指をはさまないように注意してください。コーナー金具に指をはさみ、けがの原因となることがあります。

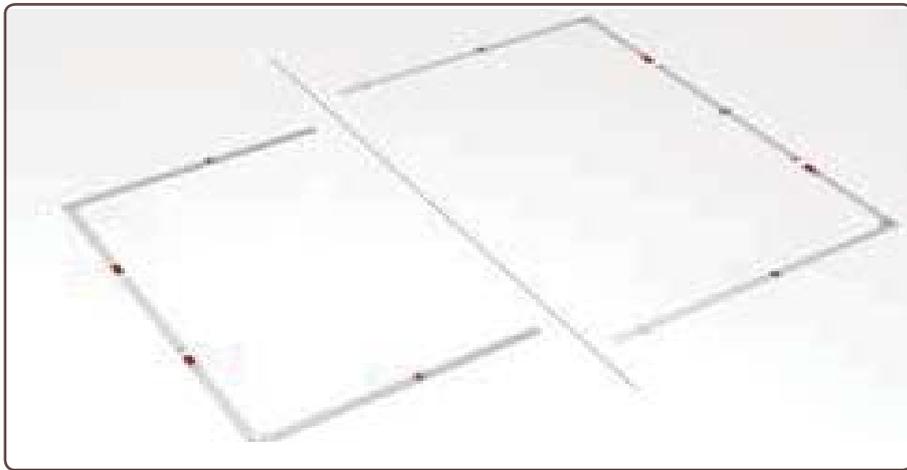
スクリーン組立て方法

- 縦方向にバーチカルモジュール(L/R)をそれぞれ差し込みます。その際付属のM8-15mm蝶ボルトを使って固定してください。



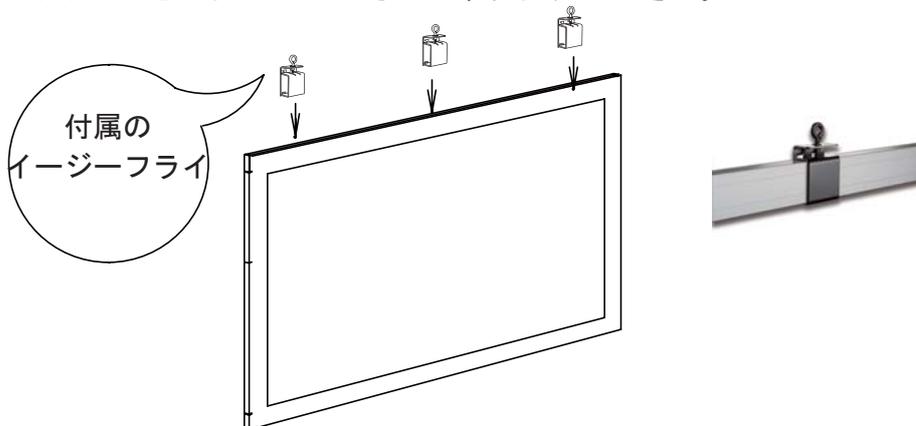
- オプション

別売りのバーチカルモジュール(縦フレーム)を入れ替えることによってフレームのアスペクト比を変更できます。



(2) 付属のイーザーフライをスクリーンフレームに取付け、バドンなどに吊りさげてご使用になる場合

- スクリーンをワイヤーロープなどで吊り下げてください。

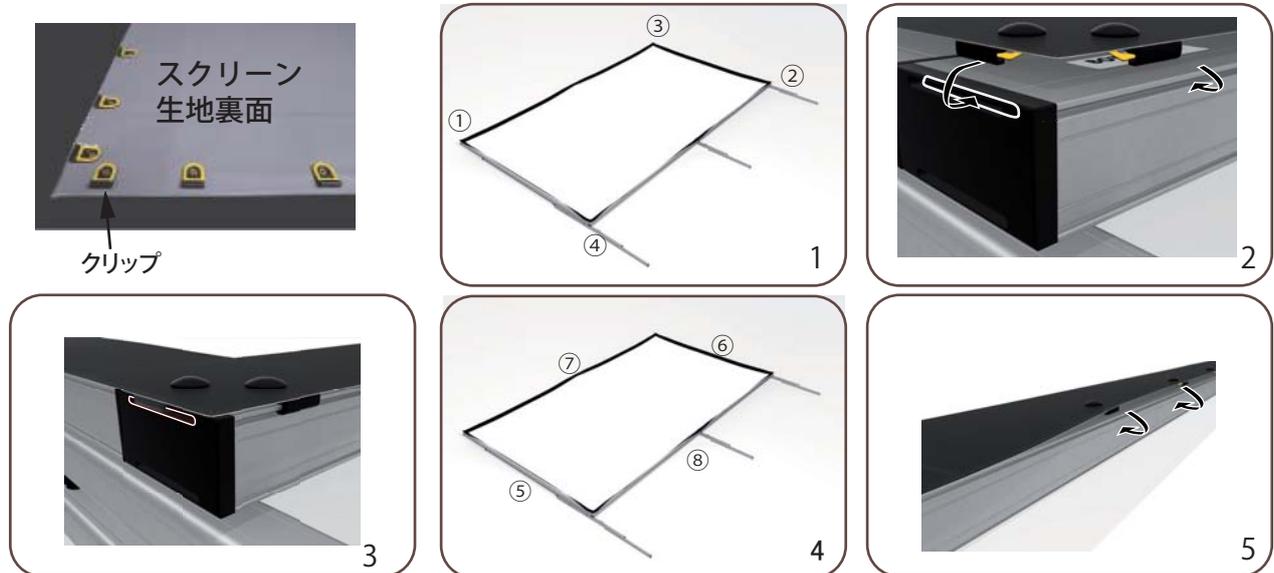


- イーザーフライはスクリーン生地を張込む前に取付けてください。
- ワイヤーロープなどは付属していませんので別途ご用意ください。また使用するワイヤーロープなどは、スクリーンの重量に応じて適切なものを選んでください。

スクリーンの張込み及びスタンド組立て方法

(1) スクリーン張込み

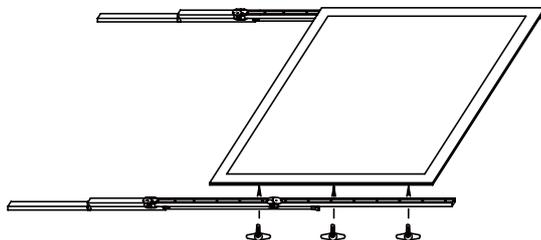
- ① クリップが付いた面を下にして組立てたフレームの上にスクリーンを広げます。
- ② 図1の順で各コーナープラグスロットにクリップを引っ掛けます。
- ③ 縦・横方向のクリップを図4の順でフレームの溝に引っ掛けていきます。



(2) スタンド組立て

● スクリーンをスタンドに取付けてご使用になる場合

- ① スタンドを広げ、付属のM8-70mm(AT48-Leg使用時) / M8-85mm(AT64-Leg使用時) ボルトでスクリーンフレーム部分とスタンドを固定してください。



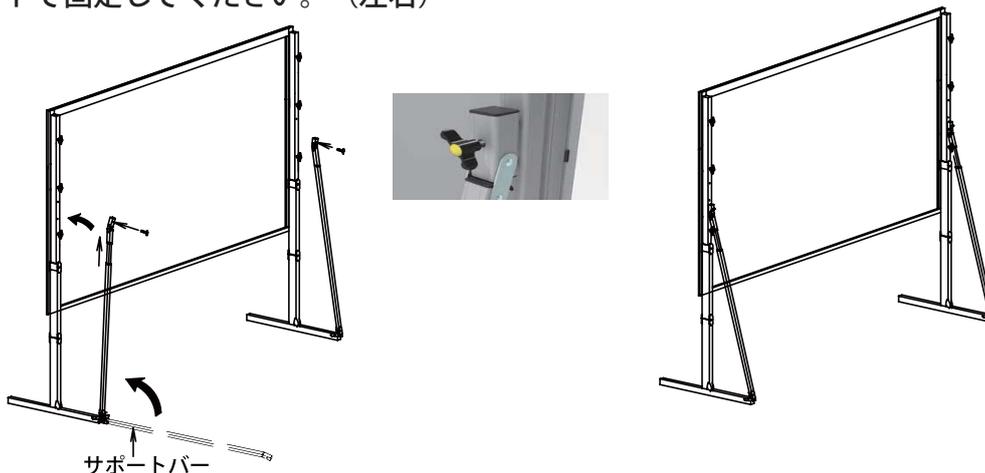
付属のボルト



注意

- ボルトの使用本数はスクリーンの大きさ及び設置高さに合わせて必要な本数を使用してください。
- スクリーンの張力によりフレームに反りが発生した場合、スタンド取付けの際、ボルトの穴位置が合わせにくくなる場合があります。このような場合はスタンドを先に取付けてからスクリーンの張込みをおこなってください。

- ② スクリーンフレーム部分を起しスタンドのサポートバーを穴位置まで伸ばし付属のM8-50mmボルトで固定してください。(左右)



サポートバー



販売元・問い合わせ先

株式会社 ケイ アイ シー

■ 本 社 〒160-0022 東京都新宿区新宿1-28-11 小杉ビル
TEL.03-3357-4839 (代) FAX.03-5357-7455

■ H P <http://www.kic-corp.co.jp/>

KIC CORPORATION .2020.1